

ゲリラ豪雨に備えましょう！

※内水氾濫とは…短時間の激しい雨等により、処理能力を超えてしまい、下水道や水路等から水があふれてしまう水害です。



ないすいはらん※

内水氾濫での避難指示では、 屋内安全確保を検討しましょう！



6～10月は、集中豪雨や 局地的な大雨に注意

集中豪雨や局地的な大雨が降ると、雨の排水が追いつかず、住宅地などに雨水があふれる内水氾濫が起きることがあります。



7年9月中原区の様子

大雨の時に避難指示が発令されることがあります

5月29日に防災気象情報が変わったことで、大雨の時に「レベル4大雨危険警報」が新たに設けられ、「避難指示」が発令されるようになりました。レベル4大雨危険警報が発表され避難指示が出た場合には、避難行動をとることが必要です。



新たな防災気象
情報について 市HP

避難指示が出たときは

避難行動をとり、身の安全を確保しましょう。避難行動には、緊急安全確保、立ち退き避難、屋内安全確保の3つがあります。

特に内水氾濫は、事前の予測が困難で、避難所が開設されていない場合があります。また、すでに浸水している場合は、マンホールや側溝が見えないなど移動に危険が伴います。安全な部屋にとどまる、同じ建物の中で上層階に避難(垂直避難)するなど、屋内安全確保を検討しましょう。

ただし河川氾濫や土砂災害などの時には家屋が流失・全壊する恐れもあります。ハザードマップなどで自宅周辺の災害リスクを確認し、リスクに応じて早めの避難を検討してください。ハザードマップや避難行動についてなど詳細は市HPで。

問危機管理本部危機対策部 ☎044-200-2890 FAX044-200-3972

屋内安全確保のためには、
家屋倒壊等氾濫想定区域に
入っていないことや、
想定される浸水深よりも
高い場所に部屋があること、
水が引くまでの備蓄が
あることも大切ニャビ！



避難行動について 市HP
防災キャラクター
ニャビ先生



むやみな移動は危険を伴います！

引用元：かわさき市政だより 8月号



エンジンが止まり
ドアも開きません

道路冠水のイメージイラスト



冠水していたら
見えません

マンホール破壊のイメージイラスト

令和8年8月千葉豪雨でお亡くなりになった方には、冠水した道路上で倒れていた方のほか、道路冠水で車に閉じ込められていた例もあります。また、多数の車が動けなくなり、道路上に放置されていました。

参考：千葉県災害対策本部会議資料

「防災気象情報の発表」イコール「避難情報の発令」ではありません。本市では、避難情報は、その後の降雨などを総合的に判断して発令することとしています。

逆に避難情報が発令されていなくても、防災気象情報が発表された際には、気象状況の悪化が予想されますので、自ら早めに避難の判断をしてください。特に内水氾濫は局地的かつ急激に発生する場合がありますので、普段から安全確保について、ご検討をお願いします。



防災気象情報＝気象台が発表する災害発生の危険度などが分かる情報

○レベル5 大雨特別警報 ○レベル4 大雨危険警報 ○レベル3 大雨警報 ○レベル2 大雨注意報 など



避難情報＝市町村が発令する避難を呼びかける情報

○警戒レベル5 緊急安全確保 ○警戒レベル4 避難指示 ○警戒レベル3 高齢者等避難